



WASEDA University
早稲田大学

WASEDA INSTITUTE OF LATIN AMERICAN STUDIES
(ORIS ORGANIZATION FOR REGIONAL AND INTER-REGIONAL STUDIES)

国際シンポジウム

21-24
OCT 2024
UNIVERSIDAD
WASEDA
en Tokio,
Japón

スペイン語創作活動の 最先端から見る多言語世界

—英語ヘゲモニーとの共存共栄に向けて—

登壇者:

MÉXICO

ファン・
ビジョーロ

FOTO:©SOFÍA GRIVAS

『証人』(山辺弦 訳)
水声社 2023年



Viewing the Multilingual World through the
Vanguard of Creative Activities in Spanish:
Toward Co-existence and Co-prosperity with the
English Hegemony

寺尾 隆吉
(早稲田大学)

EL SALVADOR

オラシオ・
カステジャーノス・
モヤ

『崩壊』(寺尾隆吉 訳) 現代企画室 2009年
『吐き気』(浜田和範 訳) 水声社 2020年



浜田 和範
(慶應義塾大学)

富田 広樹
(北九州市立大学)

CHILE

カルロス・
フランス

『僕の目で君自身を見ることができたなら』
(富田広樹 訳) 水声社 2024年



グレゴリー・
サンブラーノ
(東京大学)

同時通訳:
ダニエル・オロスコ

***10月21日(月) 18:00~20:30 (予約不要)**
講演会「現代スペイン語文学の最先端から —3作家の体験—」

***10月22日(火) 18:00~20:30 (予約不要)**
円卓会議「スペイン語から世界文学へ —翻訳の役割と重要性—」

*10月24日(木)は会場をインスティトゥト・セルバンテス東京に移して、記念イベント
「ホセ・ドノソを讀えて —『ラテンアメリカ文学のブーム』と文学に憑かれた作家の素顔」
を開催(要予約)

会場

早稲田大学
国際会議場 井深大記念ホール

協力



Embajada de Chile en
Japón



MÉXICO
EMBAJADA EN JAPÓN

Tokio

《国際シンポジウム》

「スペイン語創作活動の最先端から見る多言語世界—英語ヘゲモニーとの共存共栄に向けて」

Viewing the Multilingual World through the Vanguard of Creative Activities in Spanish:

Toward Co-existence and Co-prosperity with the English Hegemony

主催: 早稲田大学(社会科学総合学術院、早稲田ラテンアメリカ研究所)

協力: 駐日チリ共和国大使館、インスティトゥ・セルバンテス東京、駐日メキシコ大使館

会場: 早稲田大学 国際会議場井深大記念ホール (新宿区西早稲田1-20-14)

問い合わせ先: 早稲田大学社会科学総合学術院 socs-inq<at>list.waseda.jp

母語話者数5億人を超えるスペイン語は、現代世界において重要な言語文化圏を形成しています。その文化活動の特色と現状を踏まえ、現代ラテンアメリカを代表する国際派作家3名とともに、英語圏との共存共栄について多角的に議論することで、スペイン語文化という視座から多言語・多文化共生社会の未来を展望します。

日時	プログラム	登壇者
10月21日(月) 18:00~20:30 ※入場無料、予約等不要	講演会 「現代スペイン語文学の最先端から — 3作家の体験」 ※同時通訳(日本語・スペイン語・一部英語)あり	フアン・ビジョーロ(メキシコ) オラシオ・カステジャーノス・モヤ(エルサルバドル) カルロス・フランス(チリ) 司会: グレゴリー・サンブラーノ(東京大学) 通訳: ダニエル・オロスコ
10月22日(火) 18:00~20:30 ※入場無料、予約等不要	円卓会議 「スペイン語から世界文学へ — 翻訳の役割と重要性」 ※通訳(日本語・スペイン語・一部英語)あり	フアン・ビジョーロ(メキシコ) オラシオ・カステジャーノス・モヤ(エルサルバドル) カルロス・フランス(チリ) 寺尾 隆吉(早稲田大学) 浜田 和範(慶應義塾大学) 富田 広樹(北九州市立大学) 通訳: ダニエル・オロスコ

会場: インスティトゥ・セルバンテス東京 オーディトリウム(千代田区六番町2-9)

インスティトゥ・セルバンテス東京 <https://tokio.cervantes.es/jp/default.shtm>

20世紀のラテンアメリカを代表するチリの文豪ホセ・ドノソが生誕100年を迎える今年、新時代をリードする3人の作家たちがどのように彼の文学を受け継いでいるのか、実体験を中心にたっぷりとお話いただきます。

日時	プログラム	登壇者
10月24日(木) 18:00~20:00 ※要予約、入場無料	特別記念イベント 「ホセ・ドノソを讀えて— 『ラテンアメリカ文学のブーム』と文学に 憑かれた作家の素顔」 ※同時通訳(日本語・スペイン語)あり	フアン・ビジョーロ オラシオ・カステジャーノス・モヤ カルロス・フランス 司会: 寺尾 隆吉(早稲田大学) 通訳: ダニエル・オロスコ